

島根県公共事業再評価 評価結果 (案)

作成日 平成25年5月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
3	<p>(事業概要) (事業主体の根拠)</p> <p>(事業名・地区) (一) 矢尾今市線 防災安全交付金(改良)事業 大塚工区</p> <p>(事業位置) 出雲市矢尾町 ～大塚町地内</p> <p>(事業費) 5,826,000 千円</p> <p>(事業概要) 本事業は出雲市矢尾町～大塚町地内において1.63kmのバス整備を行うものである。</p> <p>(事業主体の根拠) 道路法第15条</p> <p>(再評価区分) 事業着手後10年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部署名) 土木部道路建設課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度：H16年度 用地着手年度：H16年度 工事着手年度：H17年度 再評価(案)年度： 完了予定年度：H30年度 経過年数：10年</p> <p>(進捗状況と今後の見込) 全体で48%の進捗(事業費\times2) 用地補償は84%契約済み(事業費\times1)。 工事は48%の進捗であり、県道斐川出雲大社線～終点側の0.7km区間は完成供用済み。 残る区間については、一畑電鉄の高架問題で着手が遅れていたが、平成24年度に地元との了解が得られ、道路及び橋梁の設計を完了した。 平成25年度に用地調査及び用地買収を行い、平成30年度の完成を予定している。</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 当工区は平成25年度に供用予定の東林木バイパスと一体となり、松江方面から出雲市中心部へと向かう幹線道路となる。 また、事業区間の現道は冠水区間があるほか、小中学校への通学路となっており、幅員も十分でないことから危険な状態である。 このため、広域的な幹線道路網の整備にあわせ、冠水区間の解消と通学路の安全確保を図るものである。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 東林木バイパスの供用が平成25年度末の予定であり、その効果を十分に発現するためにも本路線の整備が急がれる。 また、近年では沿線に大型店舗や商業施設が続々とオープンした事に伴い交通量が増加し、事業の必要性は高まっている。</p> <p>(事業に対する地区情勢・計画の熟度) 用地買収も概ね完了し、当初高架上に反対していた地元住民の理解も得られ、現在では事業の早期完成が望まれている。</p>	<p>(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)</p> <p>(費用対効果) B/C=1.38 (aaaa) 社会的効果60点 (bbb) 総合評価 (aaaabbb) 「事業を行う価値がある」 (コスト削減・代替案等) ①事業規模の妥当性 道路構造令により、地域区分と計画交通量から、道路規格3種2級、設計速度60km/h、道路幅員は2車線の車道(3.25m\times2)と両歩道(3.5m\times2)の全幅15.0mとした。 ②事業方法の妥当性 橋梁形式の選定にあたっては、ライフサイクルコストを考慮した経済比較により、耐久性、耐震性に優れた橋梁形式を選定した。 ③コスト削減への取組 盛土材は他工事からの流用で、今後も同様にコスト削減に努める。 また、起点側の田園地帯では歩道を片側に集約し、コスト削減を図った。 (その他の効果) 県立中央病院へのアクセス改善や、バス路線の運行環境改善による生活環境の改善、幹線ルートへの供用に伴う交通の分散により、周辺部での渋滞緩和などが見込まれる。</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 東林木 BP の供用により、通過交通が生体道路に流入することが予想されるため、安全確保の点から、幅員が十分でなく歩道も設置されていない現道の早期改良が必要となる。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) (事業を中止した場合の影響) 東林木 BP が H25 年度に供用予定であり、一体となって交通網を形成する本路線の整備が中止となった場合には、東林木 BP の効果も十分に発現されない。 第1次緊急輸送道路に指定されているが、冠水区間が解消されず、災害時に緊急輸送道路として機能しない。 道路管理者、教育委員会及び公安委員会が合同で実施した「通学路の緊急合同点検」において、当工区は危険箇所となっており、当工区の実業が中止された場合、通学生の安全が確保されないまま放置されることとなる。</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続の理由) これまで、計画延長1.63kmのうち0.69kmを供用済みであり、引き続き全線開通を目指して整備を進めている。 現在も事業の必要性は変わっておらず、H25年度供用予定である東林木 BP の効果発現のためにも、早期供用を図る必要がある。</p>

広域交通ネットワークの整備

一般県道 矢尾今市線 大塚工区

路線の概要

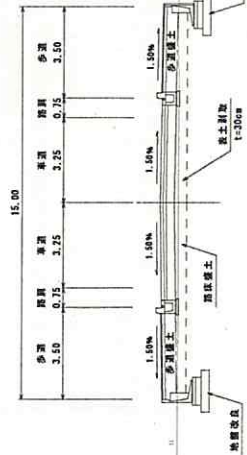
一般県道矢尾今市線は、出雲市矢尾町の国道431号から出雲市役所前の国道9号を結ぶ延長2.8kmの幹線道路であり、東林木バイパスと一体となって広域交通網を形成します。

事業の概要

- 1 バイパス整備により出雲市中心部へのアクセス性が向上します。
- 2 通学路の歩車分離を図り、通学する生徒や児童の安全確保を図ります。
- 3 バイパス整備により冠水区間を解消します。
- 4 一知電鉄との立体交差化により安全性が向上します。



標準断面図
(両側歩道部)



標準断面図
(片側歩道部)

